

# 有宵会だより

第104号  
発行所  
特定非営利活動法人  
岳易館・有宵会  
編集 広報部  
松戸市新松戸1-64

## 九星と易断による

### 四月・五月の運勢

気学では辰の三碧

四月四日（清明）節入り

破

2	7	9
1	3	5
6	8	4

天道

ア

五月五日（立夏）節入り

ア 天道

1	6	8
9	2	4
5	7	3

破

生氣



## 時事推断

三月二十一日、二回目

対コロナの緊急事態宣言の解除で、二カ月半の厳しい忍耐でした。

社会の内部からさまざまな軋轢が生じ、業種により失業やら倒産など痛みつけられています。

不況感だけでなく、外出制限で自由を抑えられている結果では、精神的萎縮で鬱症状が多発している傾向です。

さてコロナ下の見通しは、今後どうなるかで、得卦は、風水渙の上六です。渙卦の意味は悩みを散らすので、願いが通るといわれています。

上九の爻辞は、其の血を渙す。去りて逃く出ず咎なし。この爻辞から遠くへ去る意から、次第に沈静化する方向で、季節の変わり目として秋の終り年末頃に、一段落することでしょう。ワクチン普及で坎（コロナ）が散り一先ず収まるでしょう。

## 一白水星の人の運勢

四月筮一火沢睽の九二

五月筮一天風姤の九五

慎重運で急ぐと失敗、仕事は責任重い。家庭は和を守り嫌なこと聞き流す。お金はこぼさない。

足腰、湿疹花粉、焦慮。

五月は単独さけて手を借りる。書類必要、夫婦愛を深めて、友人知人は古いほど味がある。仕事熱心だが贅沢は言わない。肩こり、のど風邪、足元。

## 二黒土星の人の運勢

四月筮一沢天夫の九四

五月筮一火風鼎の上九

四月は活気運、仕事は背中を押されて頑張る。対人面は吉凶半々、中旬不愉快なことあり騒がず我が家は会話が弾み心の癒し、体調良好でしょう。

五月は面倒な問題もスムーズにいく。三人寄って文殊の知恵で進める。公私に内部改善が吉。食事はウマイが目と歯留意。

## 三碧木星の人の運勢

四月筮一山水蒙の上九

五月筮一天地否の六二

四月は何かと有事が多いがスロー気味。厄介なこと重荷の問題は避ける。本職で精を出す脇見をしない。金運は買物不利。

胃腸疲れ、持病に注意。

五月は本調子ではなく自重。内面の気苦労を我慢、後半尻上がりに良い。仕事に助け舟あり。人恋しく情愛濃い。視力大切。

## 四緑木星の人の運勢

四月筮一山天大畜の九三

五月筮一火沢睽の初九

四月は軽く動かさず持久方針が良い。些細なことに拘わらず気宇大きく。諸事油断をしなければ無事、忘れ物ありそう。体調は良いので安心です。

五月は一息ついたのだから本番腕を振るう。仕事は状況を変えない。ソフトな笑い顔、家庭の中に宝物あり心は豊かに。

## 五黄土星の人の運勢

四月筮一山雷頤の六四

五月筮一地沢臨の六三

四月は心身を休め英気を養う。温故知新で古い事柄を生かし、仕事は次の狙いを秘め金運は欲張

らず淡々。飲食の機会を楽しむ。要のどと腹具合。五月は多忙が続き休みなく、自分の持ち味活かす。日常生活のペースを守る。頼まれ事は吟味してから諾。疲労回復図る。

## 六白金星の人の運勢

四月筮一風天小畜の九三

五月筮一沢雷隨の初九

四月は多事多用で気疲れが多い。前半より後半になるほど安定。失言に用心。金運は伸びるので手を打つ。節々の痛み。

五月は気分が良いとき周囲に気遣いが必須。企画の提案、技術の向上など能力示す。上旬は意見の違いから口論注意。肩腰の凝りや歯の手当など。

## 七赤金星の人の運勢

四月筮一火雷噬嗑の九四

五月筮一風火家人の初九

四月は予定通りに進める、ハッキリと見通しを付ける。中旬に障害があり停滞、金策に厳しさから関係者の知恵を借りる。外出が多いので控える。

五月は背伸びをしないで着実に進める。本業を守るが一部に頭打ち。金運は貯金方針。ストレス

から疲労や怪我など用心。

## 八白土星の人の運勢

四月筮一火水未済の六三

五月筮一山沢損の六四

四月は自分のペースで行く。転ばぬ先の杖で安全に。仕事は待つこと実力を増すように心がける。家族の対話がほしい、それには素直さが大切。

五月は平穩に進めるのが良く無理をしない。身内や縁故の交わりを大事に。乗物や金運は慎重に。胃腸系と怪我に注意を。

## 九紫火星の人の運勢

四月筮一巽為風の初六

五月筮一沢火革の六二

四月は春らしく調子が出る。仕事は小さいながら落ち着く、生活の一部に改善を予想外の付き合

い、修理や補充で出費増風邪気味、薬の作用など。

五月は新しいムードが夢が生まれるが現状を守る。家庭の復活で楽しさ

中旬言葉に注意、心温かさと思いやりを示す。

福田 有宵



一月有宵会報告

八川 林加

一月三十日(土) 勤労福祉会館(綾瀬ブルミエ) 第一ホールにて、NPO 法人岳易館・有宵会定期例会を開催。第一部は、福田有宵先生及び菅原有恒先生より新年の御挨拶を頂き、佐藤宗眩先生からは、検見川神社様における「神易館」の活動報告が行われました。第二部では、「二〇二一年を予測する」という検討課題のもと、福田有宵先生と会場参加者によるディスカッション形式での講演を開催。活気ある一年の幕開けに相応しく、白熱した例会となりました。紙面上の都合で主な内容に絞ってのご紹介となりますが、ご容赦ください。



◆第一部◆ 新年の御挨拶

◆令和三年を迎えて

福田有宵先生

昨年からの地球全体に広がったコロナ禍ですが、未だに続いており、あと半年は続くと思われています。昨年七月の有宵会総会で一年の活動方針を掲げておりますが、依然として活動の制約が強いられております。しかし、例会については、忘れず怠らぬ、そして有志の方々にもご参加を頂いております。今後どのように会の活動をしていくかについての検見川神社様から活動の場をご提供頂きました。「神易館」として昨年末より活動をスタート致しました。後ほど、佐藤宗眩先生からご報告を頂きます。我々は非常に奥深い分野を研究しております。少子高齢化の問題や高齢者の認知症に関する相談など、時代背景と共に考え方も変化している。昨今、我々の研究課題も内容のあるものに取り組みたいと思っております。

◆年筮の推移にみた運の連続性

菅原有恒先生



私の見解では、三年間は年筮による運勢が継続していると考えています。私は、十五年間の軌跡を記録しています。

―直近三年間の年筮―

・二〇一八年 年筮

天水訟 \*爻省略

・二〇一九年 年筮

火沢睽 \*爻省略

・二〇二〇年 年筮

山地剥 上九

三年前は、私が心臓の病気で手術をした年です。昨年は、山地剥の上爻が変化しました。コロナ禍でしたが、災い転じて福となすように、詩集の発刊と、有楽町の東京交通会館で個展「百花選詩書展」の開催を実現でき、有宵会のかたにも来て頂きました。詩集は、『日比谷公園 百科選漢詩集』と申しまして、完成まで

に相当の歳月をかけました。コロナ禍で行動が制限されたことにより、かえって各種の制作に拍車がかかり、完成へと繋がられました。個展は、昨年十二月の開催となりました。年筮の山地剥は、年初から始まったコロナ禍によって何もできない状態が示されていましたが、作品作りに注力した結果、自身の健康はコロナの脅威を避けることができ、上爻にあたる十二月の変化によって坤為地となり安定が得られたとの解釈です。昨年は、展覧会系のイベントは半数が中止されていましたが、年筮の動きを捉え、あえて開催を致しました。個展は、四日間の開催で百名を超える方々に来て頂きましたので、開催してよかったですと思っております。

―今年はどうか―  
・二〇二一年 年筮  
天風姤 初六  
姤の卦では、初爻・五爻・上爻の三か所が変化するところになります。  
初爻変←乾  
初爻・五爻←大有  
初爻・五爻・上爻←大壮

私は、得卦の爻を時期にあてはめる時は、旧暦も参考にしています。例えば、初爻は、一月から二月と見ることが大半ですが、旧暦を考慮すると一月から三月の間になります。このようにしていくと、上爻は、十一月から翌年一月の時期にあたります。

福田有宵先生は、皆様の月筮を出しておられませんが、私の一月は、天風姤の初六です。年筮と月筮に同じ得卦が重なりました。実は、今年の三月にも上野で書道展の開催を予定しています。時期的にもその展覧会がうまくいくかどうかを示されていると考えました。姤の初爻が変化すると乾になります。初爻の爻辞はあまりよい意味を示していませんが、正しい事柄であればよい、とされています。これは、自身に所属する「清心会」の団体行事として行うことであればよし、と解釈しました。また、その後の動きを五爻変の大有↓上爻変の大壮へと移り替わる象を考えれば、初爻の時期の展覧会は無事に乗り

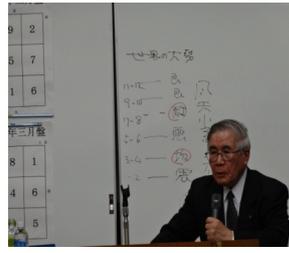
切れるだろうと判断しました。皆様も自分の年筮がどの様に変化してきたかを振り返ってみてください。そして、五年、六年と積み上げていくと、自分の向かう方向性がわかってくるでしょう。

◆「神易館」について 佐藤宗眩先生

二〇二一年の一月一日より、千葉の検見川神社様の境内に「神易館」という占いの鑑定所がオープン致しました。このお話は、一昨年から検見川神社様よりお話をいただいたものでしたが、急遽、昨年末に詳細が決まりました。年末の短期間でオープンをするまでには、検見川神社様や有宵会の長澤光祐先生に多大なご尽力を頂きながら進めて参りました。初日の頃は、お客様が全くお見えにならない状況でしたが、徐々に認知され、少しずつお客様も増えてきました。一番の特徴は、検見川神社様側が運営にかかわる固定費用をご負担してくださっていることです。有宵会では、活動にご賛同をいただけるかたを募集し、鑑定士のかたに場



倒産などが出てきます。国は、中宮にいますので、四方八方に救いの手を出しますが、その結果、中宮の存在によってプラスマイナスも生じるとの見解です。金融機関は、五黄の存在と、過去三年間の結果が現在に至ったものと覚えておきましょう。



【生活ラインの動き】

生活上では、坤良線の二五八ライン（二黒・五黄・八白）を見る必要があります。今年は、三碧・六白・九紫です。この三星を一連の様子として捉えますと、国側としては、まだ生活にゆとりがある、或いは、その様な意識を持つているとします。国民がどれほど叩かれ、仕事がない状況が続き、失業が二百万人以上になっ

り、二五八、三六九（三碧・六白・九紫）、一四七（一白・四緑・七赤）です。二五八の時は、我慢をして地道に生きる姿であり、生命力がありま

【業種別の動きについて】

今年、六白と九紫のところ

●水産業

業は、九紫に同会します。本来一白である水産は、

騰といった事象が予想されます。特に漁業関係は

●建設・不動産・鉄工業

八白の象意が主となり、九紫の状態です。生活ラ

●車や機械関連の産業

六白の象意です。中宮に

●精密機械関連

七赤暗剣象意です。キャンセルの多発、クレーム

●食品、飲食業界

七赤暗剣の作用を受け

を得ない状況です。暗剣

●薬品関係

九紫の象意です。良宮

【社会生活ライン】

巽宮・中宮・乾宮の

てきます。時間的な推移

―易による―

◆世界の大勢について

（中筮法）  
風天小畜 之 不変  
下から震坎震離良良

第三次世界大戦は起こりません。自国の問題で

ありません。初爻を一月―二月として、二爻を三月―四月としてみた場合、ここに坎がある。この時期にきつい問題が現れてきます。坎は、冷戦であり、妥協点がありません。

七月―八月は、離で主文となり、この時期に話をまとめることになります。自国の国境線の問題なども浮上しますが、小畜の場合には話し合いがつきません。全体としては大した動きがない様子です。小畜でイラン、北朝鮮、イスラエル等の国は、自国の軍備を伸ばしていきたい意向と見えます。最終的に良が続きます（五爻、上爻）。十月以降の時期ですが、やるぞ、という位置ではあるものの、小畜なので実行しても結果は期待以上ではないという状況です。また、小畜は、一陰五陽卦です。六四の陰はどの国であろうかと国別にあてて考えることも必要です。また、離で外交の問題、国連になるのかアメリカ以外の外交路線を入れる国があるかどうか。ヨーロッパはコロナ禍で政ごとどころではありません。

◆日本の国運について

（中筮法）  
（得卦）  
水天需 之 沢風大過  
下から乾坎震坤震巽

日本は食べていく事に精一杯であり、緊迫した状態との見方です。需は待つことであり、コロナ後の先々（五爻）での好転に期待を寄せている状態です。ただ、大過へと変わるのもつと厳しい問題が浮上してきます。大過では、初爻と上爻が陰になり、二陰四陽の卦になる。占的は、日本の国運です。四陽爻の立場にはよいが、初爻である一番下の層の人達が泣きをみることになり、次に、上爻となる高齢者への待遇悪化です。また、坎で不祥事、自殺者増の問題も懸念されます。本来は、国や行政による早い動きが必要ですが、コロナを理由に後手に回ります。例えば、一月にあたる爻は乾です。国や行政、地方が主導的になっている状態です。先日、二月七日まで緊急事態宣言が発令されましたが、

これも乾の姿であり、コロナ対策が必要なのです。初爻が陰に変わると異なります。乾が異に変わるのですから十分な状態ではなく、一部に成果が見られたとしても全体には及ばない状態です。三月―四月（二爻）は坎が来ます。三月で一旦は小康状態にはなるものの、坎はこの後、第四波とみられる動きをみせて引き続きコロナが続くと見えます。国や地方自治体

がどのようなようになるか一波乱がありそうです。この時期は、年度末で手が打てない状況となるため、政策云々という動きは坎の時には発して来ないでしょう。次の震である五月―六月（三爻）で、動き出します。五輪は実行したい方針です。震で希望ありとの考えです。また、天人地の位でも、人地（三爻、四爻）のところで地雷復になります。去年は（コロナ禍で）失敗して五輪が出来なかった点を変えていこうとする動きです。そして、五爻・上爻のところでは風雷益にしていこうという流

◆コロナの問題について

（中筮法）  
（得卦）  
離為火 之 山火賁  
下から艮巽艮乾兌艮

本卦は離為火で言うことを聞かない状態です。また、継続してきたものを示している。これが、山火賁になれば離の規模は縮小しますが、賁の内卦に離が残るため、コロナの撲滅までには至りません。一月―二月は、初爻良で動きなし。次に三月―四月で二爻に巽が来ています。薬の効き目については、中文の二爻（巽）と五爻（兌）を見ます。本来は、中文の位置に離を配したいところです。薬の効果が示される位置にワクチンの核となる部分は巽と兌であるため、十分ではありません。比率からいけば、七十%位の内容であると予測します。次に三爻では艮です。三月―四月の動きだけで止まってしまいます。ワクチンの接種が容易に受けられないだとか、副作用の問題が浮上するといった事象が懸念されます。

そうなると、ワクチンの投与を推進するに難しい問題が生じるでしょう。四爻乾のところは、七月―八月にあたり、五輪の開催時期です。国が国民に向け、施策のアピールを掲げていく様子です。五爻の秋になると兌になります。コロナへの対策が十分でない様子や実行策への甘さが懸念されます。また、ワクチンの効果や副作用に関する風評も出てくる場所です。

◆コロナは来年まで続くかについて  
（略筮法）  
（得卦）  
風雷益 六三  
之卦 風火家人  
来年のコロナについて、略筮でも見てみます。益は、増える、増す、続くというキーワードで覚えてください。従って、来年もコロナは続きます。どの程度の規模で続くのかという点については、

之卦の家人で、だいぶおさまりを見せている様子です。略筮ですから、結論だけを出す形ですが、三爻でそろそろ勢いがおさまる状態です。先ほどの中筮では、離の賁に之く結果で、賁が残っていたことから、来年の前半までは、コロナの問題は続くと思えます。

【質疑応答】  
菅原有恒先生・福田先生の立筮結果を私なりに考察しました。「世界の「大勢」「日本の国運」「コロナの問題」に関する立筮は、いずれも七月―八月にあたる爻に変化が見られます。「世界の「大勢」は不変卦ですから爻変はないですが、三爻と四爻で火雷噬嗑になりま

海外のアメリカやヨーロッパが選手を送り出さないとすれば、開催は難しくなります。菅原先生からご指摘のあった、各結果の三爻・四爻は易の三才では人の位です。ここでは、社会や世の中の時世が入るところです。厳しい局面であることは変わりませんが、期待したいところでは、金融関連のかたのご意見も伺いしましょう。

**今中陽子先生**

金融機関代表の意見ではありますが、様々な準備をしていますし、物凄くお金を投資しています。これで（五輪を）やらないとなれば資金の回収が出来なくなり、かえって大変になるのでは、と思います。私個人としては、五輪を開催して欲しいと望みます。

**福田有宵先生**

では、私もこの場で五輪の開催が出来るか否か、卦をとってみたいと思います。

**（略筮法）**

**（得卦）**

雷風恒 九二一

之卦 雷山小過  
雷風恒ですから、五輪を開催したい、が常にな

ります。恒の時は、公平性、バランスであるとか、同じ意見に同調するといったことに奮起します。そう簡単にはうまくいかない意味がありますが、表向きは意見を揃えていかねばならず、何とかして五輪を開催させようとする動きを取るでしょう。恒の二爻ですから、三月と四月がポイントになります。その頃に開催までの勢いをつけていくことになり。之卦の雷山小過では、五輪の開催は厳しいとする見方もあるかと思えます。コロナ禍で開催への非難もあり、初めから道筋は辛いところです。その中でもやっつけていこうとするのが一つの約束事になり、実行しなければまずいという風潮が次第に世論にも出てくると思えます。皆様の意見はどうでしょうか？

**半田晴詠先生**

雷風恒の互卦は沢天夬になります。得卦の雷風恒だけをみると、やはり土台が弱く足元が揺らいでいる状態であると思えます。初六の弱さと互卦の沢天夬をどうつなげるかがポイントになるかと思えます。

久保田恵都予先生…雷風恒は、坤の包卦です。坤で諸外国であり、参加国と見た場合、包卦にあたる三陽爻はメダルであり、二爻が陰に変わるので陽爻が不足となります。つまり、五輪を開催したとしても、参加しない国が出てくるのではないのでしょうか。

**福田有宵先生**

その可能性はあります。内卦の巽は、東から東南の方位で良になつた場合は、アメリカから中南米を示します。そうなれば条件は厳しくなります。そのように読んでよいかは、再度検討する必要があります。

**泰山林翰先生**

雷風恒ですから、国としては今まで通りにやっけていきたいという気持ちですが、迷っている異の状態から良に変わっていくのですから、私の意見は、最後は止まる、開催は中止になると思えます。その理由は、内部的に迷っていた状態が様々な意見が上がり、良の国内で最終的な判断がなされた結果、開催は厳しいのではと考えます。

**福田有宵先生**

雷風恒の九二の爻辞を見えます。「悔亡。象曰。九二悔亡。能久中也。」

「能久中」とありますので、少し待てという意味があります。九二は陰の位に陽であり、不正です。悔ありで考えを改めなければならぬところ、二爻は剛中の徳で特別なことにしようというのです。二爻変で雷風恒が雷山小過に変わると判断すれば、開催は危なくなります。しかし、恒のままですることが出来たなら、開催は維持出来るという答えになります。もし、開催がまずい状態なら、本卦に雷山小過が得られるべきです。九二で留まれるなら、難破しそうになりながら何とか動いていくという状態になります。これは、本卦重視で捉えるか、之卦で捉えるかの違いになります。結論として、五輪の開催に漕ぎつけると判断します。皆様も、どちらの判断とするかを決めておいてください。

**菅原有恒先生**

今までのお話からわかったことがあります。雷風恒の互卦・

沢天夬は、決断の意味です。つまり、今までの体制への決断になるのではと思えます。傷を負いながらも五輪開催に至るといのが自身の意見です。

**福田有宵先生**

皆様の答えは、七割が理論で三割が主観となっています。菅原先生から、沢天夬で決めるか壊すかです。坤で包まれている以上、まとめるとの方向性になります。内部的に壊れているということもありません。沢天夬は、上六がものを言います。この位置は、アメリカの態度を示すところです。ヨーロッパはアメリカに追随するでしょう。アメリカと日本がどのような打ち合わせをしていくかは、これから表れてくるでしょう。

**河野有泉先生**

雷風恒の二爻が変化することで、日本は今までの意見を留めると判断し、外国を外卦として見た時に、外国のことは考えなくても良いのではと思いましたが、どうでしょうか？

**福田有宵先生**

雷風恒の九二で雷山小過となつた場合は、外国との関係は

背中合わせになります。その場合、外国との調整が出来るかを検討する必要があります。今のところは、お互いに坤で包まれている状態です。

**佐藤宗眩先生**

私は、昨年の十二月から自身の教室で暦やコロナのこと、経済、五輪といった件で予測を立てております。五輪開催については、どうしてもやらなくてはならない判断を十二月の時点で出しておりました。この考えは、変えずにいるつもりです。

**八川 林加**

「鳴動の法（釜鳴護摩・かまなりごま）」に参加して  
安齋 美佐



去る一月、千葉県の明王山慈恵閣 大多喜道場にて、先達・鬼頭一祥先

生による新年の大護摩が催されました。

鬼頭先生は、お不動様にお仕えしている行者さまを中心に、各霊山で厳しい修行をされながら、福田先生のもとで易を学ばれています。

今回は、近年では希少な秘儀である「鳴動の法（釜鳴護摩）」を厳修してくださいました。

「鳴動の法（釜鳴護摩）」は、岡山県にある吉備津神社に伝わる「鳴釜神事」を起源としているようです。口伝によって伝えられることが多い神事のように、鬼頭先生も、師であつたお父様から習得されたとのことでした。

火をゴウゴウと焚くお護摩と違い、釜の上にワイン樽のような甌を置き、その中にお米を入れ、釜を焚いてご祈禱をします。

この釜を焚いた時に音が鳴るのですが、これが神様がいらしたお知らせとのことでした。

「ヴォオオ〜ン」という音は、霧笛のような、機械のモーターの音のような、また「鬼の唸る声のような音」なども表現

されるように神秘的な音で、ぜひとも皆さまにご自身で体感していただきたいものです。この日は、ずいぶんと長い間、大きな音で鳴っていたようでした。

ちなみに、起源である吉備津神社では、この釜から出る音の大小長短で、祈願したことが叶えられるか、吉凶禍福を判断するそうです。大きく豊かに鳴れば吉、鳴らなかつたり、音が途切れたら凶、という具合ですが、ご祈願者自身の心にどう響いたかがお答えになるそうです。

鬼頭先生もまた、音による吉凶は確かにあると思われていて、音の強弱、鳴るか否かなどは、神様のご意志としての判断材料にされている、とのことでした。

更に、参加者個々の生年月日を告げて、鬼頭先生にお神籤を下げてください。開始時と同様に法螺貝の音が響き、約1時間40分のご祈禱も、あつという間の感動体験として幕を

閉じました。この日、参加された2名の方が腰痛に悩まされていたのですが、驚くことに、お一人の方は帰りにはすっかり良くなっており、もうお一方に至っては、ご祈禱後に腰痛が楽になり

その場でサポーターを外してしまい、道場に置き忘れるという、ありがたような珍事がありました。私はと言えば、昨年11月頃からずっとモヤモヤしていた仕事の問題があり、その日もその話をしていたところ、なんと翌日にお答えがあり、それも自分が一番望んでいた形であつたため、本当に驚いてしまい、すぐに鬼頭先生はじめ参加した方にご報告いたしました。

良い体験をさせていただいた上に、ご利益までいただいてしまい、ありがとうございます。詳しく「鳴動の法（釜鳴護摩）」については、鬼頭先生にお尋ねいただくとうよろしいかと思えます。そして機会がありましたら、是非、実際にお受けされることをお勧めいたします。

【研修旅行】

有宵会活動の歴史・

八川林加

令和二年（二〇二〇年）

七月、佐藤宗眩先生が中心となり継続をして参りました会報誌『有宵会だより』は、記念すべき一〇〇百号を発行、同時にNPO法人として認可されてから十年が経過し（有宵会発足からは二十四年目）、有宵会はまたひとつの節目を迎えまし

た。本年は、コロナ禍により政府が緊急事態宣言を発令したことにより、例会の自粛（三月・五月）があるなど、例年にはない状況下ではありますが、この機会に、有宵会の活動を改めて振り返りたいと思えます。前事務局長の伊藤璃香先生が『有宵会設立二十周年記念誌』でご発表された活動記録

に追記してご紹介致します。\*奉仕活動（占術による鑑定会等）については、総会資料や会報誌にてご報告をしているため、研修旅行・社寺参拝、祝賀会等が中心となっております（七月三十一日現在）。

【研修旅行】

第一回 青梅方面 平成十年（一九九八年）五月二十一日 吉川英治記念館・玉堂博物館他（日帰り）参加者二十二名

第二回 銚子方面 平成十三年（二〇〇一年）十一月二十二日・二十三日 猿田神社他 参加者二十三名

第三回 湘南・中伊豆方面 平成十七年（二〇〇五年）十月二十二日・二十三日 遊行寺・修善寺・三嶋大社他 参加者四十二名

第四回 上州路 平成十八年（二〇〇六年）十一月二十六日・二十七日 一之宮貫前神社・達磨寺・妙義神社他 参加者四十二名

第五回 信濃路 平成十九年（二〇〇七年）十月二十九日・三十日 長野善光寺。安楽寺・常楽寺。北向観音堂等 参加者三十六名

第六回 甲信方面 平成二十年（二〇〇八年）十一月十日 二日・十三日 甲斐善光寺・金櫻神社・夫婦木神社・諏訪大社・万治の石仏他 参加者四十二名

第七回 越後路 平成二十一年（二〇〇九年）十一月十日・十一日 弥彦神社・春日山神社他 参加者三十六名

第八回 穂高・高山の旅 平成二十二年（二〇一〇年）十一月九日・十日 穂高神社・水無神社・位山他 参加者四十四名（故山本信義先生合流）

第九回 南房総 平成二十三年（二〇一一年）十一月十五日・十六日 那古寺・誕生時・日本寺・高塚不動尊・安房神社・崖の観音 参加者四十一名

第十回 いわき・会津方面 平成二十四年（二〇一二年）九月一八日・一九日 伊佐須美神社・龍興寺・中田観音・立木観音・鳥追観音・圓蔵寺等 参加者四十一名

第十一回 陸奥の古社寺巡り 平成

二十五年（二〇一三年）十一月五日・六日 定義如来・鹽竈神社・瑞巖寺・五大堂他  
参加者四十名  
第十二回

甲信方面 平成二十六年（二〇一四年）六月十六日・十七日 久遠寺・羽広観音・元善光寺・大御食神社・光前寺他 参加者三十九名  
\*平成二十七年以降は、

福田有宵先生が日本占術協会の会長になられたこともあり、諸々のお仕事や各教室の運営などご多忙を極め、有宵会が主催する旅行については、残念ながら見送りました。

**【神社仏閣参拝】**

例年の初詣を含め、福田有宵先生のお導きを得て数多くの霊験あらたかな社寺にご縁を頂いています。以下に主だった参拝先を記します。  
◎平成十三年（二〇〇一年）八月三十日  
検見川神社（千葉市）参拝 参加者十六名  
◎平成十六年（二〇〇四年）九月四日～六日  
永平寺（福井）参加者・有志十三名（福田先生は故金子先生ご不幸で早帰

り）  
◎平成平成十七年（二〇〇五年）四月二日  
お花見・隅田川界限・浅草寺参拝  
参加者八十九名  
◎平成十八年（二〇〇六年）五月十日  
上野寛永寺浄明院  
参加者八十九名  
◎同年六月十四日  
芝増上寺・泉岳寺（高輪）参加者六十名  
◎平成十九年（二〇〇七年）三月二十八日  
宗延寺（杉並・堀之内）参加者五十二名  
◎平成二十年（二〇〇八年）一月五日  
初詣・亀岡八幡宮（市ヶ谷） 参加者十一名  
◎同年二月二日  
白髭神社（東向島）・併せて服部時計店を見学  
参加者二十一名  
◎同年二月七日  
北野天神（春日）・平河天満宮（小石川）参加者省略  
◎同年三月一日  
墓相研究・善養寺（小岩・影向の松・吉田侑加先生五輪塔建立） 参加者二十三名  
◎同年四月五日  
お花見・護国院（上野・

大黒様）  
参加者六十二名  
◎同年五月三日  
新勝寺（成田・大法要・大曼荼羅）参加者十五名  
◎同年六月七日  
本覚寺（上野・日限祖師・御開帳と法話）  
参加者七十五名  
◎平成二十一年（二〇〇九年）一月二十四日  
初詣・諏訪神社（柏・豊四季）  
参加者四十五名  
◎同年二月七日  
平河天満宮（小石川）他参加者二十二名  
◎同年四月四日  
お花見・千鳥ヶ淵・靖国神社  
参加者省略  
◎同年六月六日  
岩槻大師（岩槻・興岩山釈迦院）  
参加者三十一名  
◎平成二十二年（二〇一〇年）二月九日  
初詣・諏訪神社（柏・豊四季）参加者五十六名  
◎同年十二月二十一日  
岩槻大師（岩槻・護摩法要） 参加者二十三名  
◎平成二十三年二月二十七日（二〇一一年）初詣・諏訪神社（柏・豊四季）参加者七十九名

◎平成二十四年二月十六日（二〇一二年）  
初詣・本土寺（松戸）参加者七十三名  
◎同年四月二十二日  
「江戸五色不動尊」巡り 目黄不動（三ノ輪・永久寺）・目黄（平井・最勝寺）・目白（豊島区高田・金乗院）他 参加者七十一名（バス二台）  
◎平成二十五年二月二十六日（二〇一三年）  
初詣・山王日枝神社（永田町）参加者五十四名  
◎平成二十六年二月二十日（二〇一四年）  
初詣・芝大神宮（港区芝）参加者六十五名  
◎同年四月五日  
お花見・上野護国寺界限参加者十八名  
◎同年十月八日  
故加藤大岳先生墓参（高尾山）薬王院  
参加者二十五名  
◎平成二十七年（二〇一五年）一月十九日  
岩槻大師（岩槻）参加者五十四名  
◎同年一月二十四日  
初詣・亀戸天満宮（亀戸）参加者十四名  
◎同年四月四日  
お花見・谷中社寺散策参加者十名

◎同年九月二十九日  
総持寺（鶴見・参禅）参加者五十四名  
◎同年十二月二十一日  
岩槻大師（岩槻）参加者約五十名  
◎平成二十八年（二〇一六年）二月十六日  
初詣・靖国神社（千代田区）参拝 参加者省略  
◎平成二十九年二月二十一日（二〇一七年）  
初詣・田無神社（西東京市）参拝  
参加者八十五名  
◎平成三十年（二〇一八年）二月十三日  
初詣・武蔵一宮氷川神社（さいたま市）参拝 参加者九十二名  
◎同年三月二十四日  
湯島聖堂（文京区）易学教室終了式・立筮会に有宵会からも多数参加  
◎同年十二月十日  
陸奥国一之宮鹿島神宮（鹿嶋市）正式参拝後、御手洗池にて禊行参加参加者六十四名  
◎平成三十一年（二〇一九年）二月十九日  
初詣・筑波山神社・大宝八幡宮（共に茨城県）参加者九十八名（バス二台）  
◎令和二年（二〇二〇年）

一月十一日  
本覚寺（上野・日限祖師）参拝・法話  
参加者有志四十三名  
◎同年二月十八日  
初詣・検見川神社参拝参加者百二十六名  
初参りの写真は、『神社年鑑』令和二年版の検見川神社様の頁に掲載。  
\*なお、十一月の「酉の市」には、福田有宵先生のお導きのもと、浅草西の寺・鷲在山長國寺様に、例年百二十名を超す参加者と共にお参りを行っておりですが、こちらは記載を割愛しました。また、桜のお花見についても、有志による主催で記録がないものは省略しました。

**【有宵会の祝賀会】**  
◎平成十九年（二〇〇七年）一月三十日  
創立十周年記念祝賀会 於日比谷松本楼  
参加者百四十名  
◎平成二十二年（二〇一〇年）四月二十日  
NPO法人設立記念祝賀会 於日比谷松本楼  
参加者百十五名  
\*会の正式名称は「特定非営利活動法人岳易館・有宵会」となりました。  
◎平成二十八年（二〇一

◎令和二年（二〇二〇年）

◎令和二年（二〇二〇年）

六年) 四月十日  
創立二十周年記念祝賀会  
於日比谷松本楼  
参加者百三十名

**【東北大震災義援金拠出】**

被災地域復興への一助として、数次に亘り義援金をお届けしました。趣旨にご賛同頂いた有志の皆様には、心から感謝申し上げます。

◎平成二十三年(二〇二一年) 五月十七日  
松戸市役所へ五十万円

◎平成二十四年(二〇二二年) 十一月十五日  
いわき市役所へ二十五万円

◎平成二十五年(二〇二三年) 十一月五日  
鹽竈市役所へ四十三万円

**【熊本地震災義援金拠出】**  
◎平成二十八年(二〇二六年) 八月三十日  
熊本市役所へ四十一万円

\*実行委員会・福田有宵先生・佐藤宗眩先生・伊藤璃香先生他

\*なお、日本赤十字社への寄付は、現在も毎年継続して行っております。

**【有志主催の研修旅行】**  
◎平成二十七年(二〇一五年) 十月二十五日(二十九日)

中国研修旅行(主催:菅原有恒先生・泰山林翰先生他) 孔子廟・孟子廟・孔子研究院・青島国学学会易研究会と交流他 参加者十二名

◎平成二十八年(二〇一六年) 九月二十七日(二十八日)

奈良大神神社、笠山三宝荒神社参拝(主催:龍神研究会・泰山林翰先生他) 参加者十二名

◎平成三十年(二〇一八年) 十月三十日(十一月四日)

中国天水大同易学交流研修旅行(主催:菅原有恒先生・泰山林翰先生他)

雲岡石窟、天水・伏羲廟、大雁塔他見学 参加者十八名

\*有志主催の研修旅行は、会報誌等に報告書のご提出を頂いた内容をご紹介します。

**八川 林加**

**利益と義理①**

佐藤一斎の言志語録に曰く

君子亦利害を説く。利害は義理に基づく。小人亦義理を説く。義理は利害による。同じく云う。眞の功名は道徳すなわち是なり。眞の利害は義理すなわち是なり。君子一人

格者、立派な教養のある人は、どうかすると利害などというものは説かないように誤解する者がある。人間に利害はつきもので君子も利害を説く。しかし君子の説く利害は義理が根本である。

**利益と義理②**

義とは実践の法則であり、理とはその理由である。君子の言う本当の功名手柄は、人間としていかにあるべきかの道徳から出る。

つまり本当の利益というものには、義理にかなうものでなければならぬという事である。

ところが世の中の利害というものはたいいてい義理に発して打算に走る。これが問題である。

**小才と大才**  
小才が利くと、それで好い気になって、大才にならぬ。結局は策士、策に倒るといふ事になってしまふ。むしろどちらかというと思か、少々頭も悪く、小才も利かぬ様な人間の方が、根が真面目なだけに、修養努力して大人物になる事が多い。

あいつは少し馬鹿だと言われる人間が、賢いなど

と言われる人間の企て及びぬ人物になる。

**自分を責めよ**

人間何が悩みかという事、自分が自分を知らざることである。他人を論じたりすることはやさしいが、自分を論じ、自分を知るという事は、実はこれが一番大事であるに

もかわからず、なかなか難しいことである。

人間は、先ず自分を責むべきであつて、世の中や時代を責むべきではない。世の中が悪い、時代が悪いというのならば、

そういう時世に対して、一体自分はどれだけ役に立つのか、それをどう解釈し、それに対してどういう信念・情熱を持つているのか、よく自分を責めるがよい。

安岡正篤 一日一善より



**【NPO通信】**

次のかたがたより、有宵会活動賛助のご寄付を賜りました。皆様から

ご厚情に心から御礼申し上げます。

**【事務局だより】**

◎次回例会のご案内  
\*今後も、コロナ禍の感染拡大防止の観点により、例会およびイベントは、直前に変更・中止となる場合がございます。変更情報は、有宵会ホームページ等もご確認ください。

◎日時/令和三年五月二十九日(土) 午後一時十五分(五時)

◎場所/足立区勤労福祉会館(綾瀬プルミエ) 第一ホール

講演/福田有宵先生  
\*ご講演者・内容は、予告なく変更する場合がございます。

◎了承ください。

令和二年一月度例会参加者四十名のかたがご参加されました。(懇親会は中止)

**編集後記**

今年、関東の桜が平年よりも随分と早く開花したとのニュースが流れ、お散歩がてらにお花を眺む方も多いのではないかと思います。鮮やかな季節を静かに楽しむのもまた趣がありますね。皆様もお元気にお過ごしください。

事務局長 八川林加

お詫び  
前号(103号)中、有宵会会報100号の記念記事に誤りがありました。八川林加先生の記事でありましたが、編集のミスで福田有宵先生の記事を重複掲載してしまいました。八川・福田両先生他関係者の皆様に深くお詫びいたします。

今後とも御支援のほどよろしくお祈り致します。

佐藤宗眩